

大規模言語モデルがもたらすAIの進化と社会的インパクト ～ChatGPT登場の舞台裏とその将来像に迫る～

OpenAIが開発したChatGPTや画像生成AIなど、AIの進化は社会に大きなインパクトを与えています。これらの進化のベースにあるのは、自然言語処理の分野で使用される機械学習モデルの一種である「大規模言語モデル」が実現されたことにあります。今回は、自然言語処理の第一人者で国立情報学研究所(NII)の黒橋所長をお迎えし、ChatGPTの全容や技術的背景、更にはそれらがもたらす懸念や将来展望についても語って頂きます。ご講演内容を基盤として、これからのAIの可能性、AIと人間の共生など、幅広い(技術的、社会的)視点で、様々な分野、立場の方々と自由に意見交換頂ける場になれば、幸いです。皆様のご参加お待ちしております。

講演概要

大規模言語モデル(LLM)に基づくチャットボット、ChatGPTの「賢さ」が世間を騒がせています。これは、自然言語処理(Natural Language Processing、NLP)の分野で使用される機械学習モデルの一種ですが、近年、深層学習の進展と計算資源の向上により、特にトランスフォーマー(Transformer)と呼ばれるアーキテクチャが注目され、大規模言語モデルの実現に至りました。

この講演では、自然言語処理の研究者の立場から、ChatGPTなどがいかにして生み出されたかという技術的背景を説明したうえで、LLMに関する懸念事項やLLM-jp(大規模言語モデルの日本語版)の活用、またLLMの将来展望などについての思いを述べてみたいと思います。

本講演をもとに、様々な観点から議論させていただければ幸いです。

講演者

黒橋 禎夫 氏

国立情報学研究所(NII)所長／京都大学 特定教授

【略歴】

- ・1998年 京都大学大学院 講師
- ・2001年 東京大学大学院 助教授
- ・2006年 京都大学大学院 教授
- ・2023年 国立情報学研究所 所長／京都大学 特定教授

【専門分野】

自然言語処理、知識情報処理

【業績等】

- ・言語処理学会10周年記念論文賞、同20周年記念論文賞、文部科学大臣表彰科学技術賞等を受賞。
- ・2023年5月～ LLM勉強会(<https://llm-jp.nii.ac.jp/>)を主宰し、産学官の700名以上の研究者によるLLM(大規模言語モデル)の研究開発を推進。



日時 2024年1月25日(木) 17:00～
(18:30頃から懇話会を予定)

対象 京都大学教職員・学生、京都大学デザイン
イノベーションコンソーシアム会員、一部招待者

定員 40名程度

参加費 無料

申込 要事前登録。下記よりお申込みください。
<https://pro.form-mailer.jp/fms/0e9a8367301876>

締切 2024年1月18日(木)

場所 リアル／京都リサーチパーク1号館2階 サイエンスセンタークラブ
オンライン／Zoom

問合せ 京都大学デザインイノベーションコンソーシアム 事務局
公益財団法人京都高度技術研究所 内 担当:野木
E-mail: info@designinnovation.jp TEL:075-323-7073

